

「消防団の力向上モデル事業」 事業紹介

事業名

自治体名

美馬西部消防組合

消防団名

美馬西部消防組合消防団

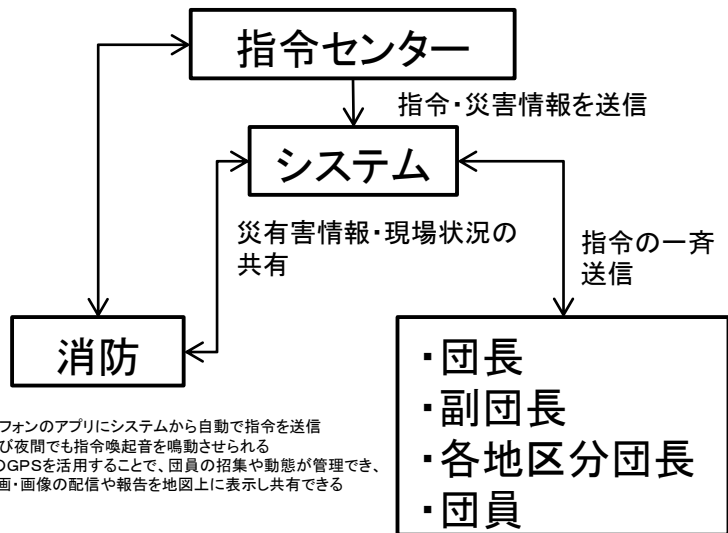
1 事業の目的

消防団員の円滑な情報共有や招集、活動記録を自動作成することで、消防団員及び事務局の事務負担軽減を図る。また、活動報酬の自動計算による適正な支払いをすることで、消防団活動の透明性を高める。

2 事業内容

消防団幹部、消防団員を対象に消防活動支援システムを導入することで、消防団員の事務負担軽減及び、カバンス強化を図る。セキュリティの担保された専用アプリを消防団員のスマートフォン等に導入し、出動指令のほか、事務連絡、活動記録の提出等をシステムに一元化し、正確な活動実態を把握する。

【導入後のデジタル化消防団】



- ・ 団員のスマートフォンのアプリにシステムから自動で指令を送信
- ・ マナーモード及び夜間でも指令喚起音を鳴動させられる
- ・ スマートフォンのGPSを活用することで、団員の招集や動態が管理でき、現場からの動画・画像の配信や報告を地図上に表示し共有できる

3 事業成果

アプリを導入したことによって、災害発生時、アプリによって地図が表示されるようになったことや、PCからアプリ導入者に通知を送ることができるようになった為、従来のやり方に比べ円滑に情報共有が可能になった。しかしながら、消防団員の高齢化に伴い、アプリの使用に慣れていない方も多いため、当分は、今までのやり方と併用しながら、少しずつアプリに慣れていただくよう、指導していく。また、機種によって不具合があった為、どういった機種にどのような不具合があったか意見をとりまとめ、業者側に改善を求めるように促していく。

指令・災害情報を送信

4 目標達成状況

指標	単位	当初目標	実績値	備考
説明会	回数	1回	1回	
参加者	人数	100人	300人	
検討会・打合せ	回数	1回	1回	

5 その他参考情報